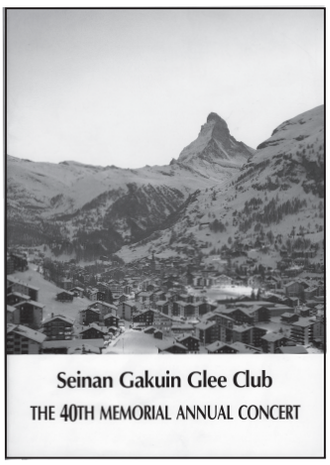
創立72周年　第40回定期演奏会

1991年12月7日(土)　6:30p.m.　福岡サンパレス



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・KBC 九州朝日放送・FM 福岡

Ⅰ　Missa Tempore Belli ～ Messe in Notzeiten ～
Ettore Desderi：曲　　指揮：北村協一
・Kyrie　・Gloria　・Sanctus　・Benedictus　・Agnus Dei

Ⅱ　男声合唱のための「季節へのまなざし」　伊藤海彦: 詩　荻久保和明：曲
・ひらく　・のびる　・みのる　・ゆめみる　指揮：磯元孝史　piano：久邇之宜

Ⅲ　賛助；西南シャントゥール　指揮：内海敬三
男声合唱のための「アイヌのウポポ」　近藤鏡二郎 : 採譜　清水　脩 : 曲
・くじら祭り　・イヨマンテ（熊祭り）　・ピリカピリカ
・日食月食に祈る歌　・恋歌　・リムセ（輪舞）

Ⅳ　From Misty Avenue ～ Old Folk Tunes Of British ～　福永陽一郎：編
・Greensleeves　・Oh, dear! What can the matter be?　指揮：磯元孝史
・Molly Malone　・Scarborough Fair　・Annie Laurie

Ⅴ　男声合唱とピアノのための「ことばあそびうたⅡ」　谷川俊太郎：詩　新実徳英：曲
指揮：北村協一　piano：久邇之宜
・かっぱ　・うとてとこ　・たそがれ　・さる

部　長 : 安徳　典光
総　務：小田　泰資
人　事：古川　忠彦
M　G：中村　彰則
M　G：溝口　淳二
sub-MG：川越　洋二
sub-MG：村田　実

会　計：高田　洋
sub- 会計：山本　尚宏
庶　務：奥園　修三
sub- 庶務：横田　啓明
sub- 庶務：渡邉　利夫
OB 担当：渡辺　誠吾
Librarian：石原　円
Librarian：松永　俊

指揮者：磯元　孝史
副指揮者：石丸　貴康
副指揮者：下川　桂
PL-T1：森田　浩一
PL-T2：本村　亮
PL-B1：三木　博志
PL-B2：辛島　陽介

TOP TENOR
井筒　達夫 (92)
北方　普幸 (92)
藤尾　拓也 (92)
森田　浩一 (92)
石田　悦嗣 (93)
石丸　貴康 (93)
進藤　孝雄 (93)
高瀬　康治 (93)
恒成　卓哉 (93)
戸山　裕士 (93)
中村　彰則 (93)
長澤　幹也 (93)
大山　輝久 (94)
柿塚　一郎 (94)
川越　洋二 (94)
増崎　一茂 (94)
松永　俊 (94)
向井　弘一 (94)
横田　啓明 (94)
内田　圭一 (95)
佐藤　久晃 (95)
高木　健司 (95)
高原　勇治 (95)
田島　正智 (95)
田中敬一郎 (95)
花田　公樹 (95)
諸熊　敏明 (95)
山崎　英輝 (95)

SECOND TENOR
磯元　孝史 (92)
伊藤　暢章 (92)
篠原　隆盛 (92)
原　裕一 (92)
福島　龍則 (92)
本村　亮 (92)
伊東　宗隆 (93)
小田　泰資 (93)
高田　洋 (93)
野村　和彦 (93)
長谷川　仁 (93)
梅崎　勝雅 (94)
田町　大輔 (94)
徳永　栄三 (94)
藤田　和徳 (94)
湯本　武志 (94)
和合　泰志 (94)
阿辺　謙二 (95)
甲木　秀章 (95)
小林　孝明 (95)
清水　健志 (95)
清水　裕之 (95)
田坂　久幸 (95)
難波　淳志 (95)
福根　克博 (95)
松岡　達也 (95)
山口　和也 (95)

BARITONE
久保　稔 (92)
長谷　憲道 (92)
廣瀬　公典 (92)
本田顕一郎 (92)
三木　博志 (92)
吉武　義明 (92)
渡邊　哲朗 (92)
岡本　幸男 (93)
奥園　修三 (93)
下川　桂 (93)
溝口　淳二 (93)
渡辺　誠吾 (93)
浦野　典人 (94)
江頭　宏隆 (94)
佐野　直人 (94)
柴田　信英 (94)
村田　実 (94)
山本　尚宏 (94)
渡邉　利夫 (94)
麻生　一徹 (95)
飯尾　達哉 (95)
池上　和弘 (95)
杉田　俊雄 (95)
杉本　真也 (95)
田中　啓司 (95)
中本　芳正 (95)
中山　健司 (95)
矢野　浩 (95)

BASS
生方　一也 (92)
片渕　恵三 (92)
辛島　陽介 (92)
木村　直嗣 (92)
杉岡　勝 (92)
藤本　裕人 (92)
吉原　淳一 (92)
杉山　信幸 (93)
田村　祐一 (93)
古川　忠彦 (93)
石原　円 (94)
原田　竜也 (94)
森本　宏 (94)
矢田　健 (94)
山田　達也 (94)
岩崎　圭司 (95)
内田　宇彦 (95)
岡村　拓朗 (95)
木村　茂喜 (95)
香田　篤志 (95)
永利　浩一 (95)
花村　政広 (95)
渡辺　健 (95)

創立 73 周年（1992 年度：平成３～４年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

福永陽一郎先生からの直接指導を受けた最後の世代が、我々93期生である。

西南グリーの為に心血を注いで指揮をして戴いた福永先生のことを、少しでも後輩たちに伝え、そして今後グリーの指導に当たられる先生方にも魅力あるクラブでありたいという思いで臨んだ一年であった。

平成４年2月27日から3月11日の行程で**第４回アメリカ演奏旅行**に出かけた。湾岸戦争のために1年遅れての実施であった。安徳典光教授（西南学院グリークラブ部長）と93・94・95期の61名のメンバーでニューヨーク、テキサス州ウエイコー（ベイラー大学）、ミズリー州カンザスシティー（ウイリアムジュエル大学）、ロサンゼルスの四都市で5回の演奏会を行なった。ベイラー大学のシェパード教授（元・西南学院グリークラブ部長）をはじめ多くの関係者方々のご協力を頂き、２週間に亘るこのアメリカ演奏旅行は参加した部員それぞれに大きな自信を与えた。

４月恒例の新入部員勧誘も帰国直後の自信に満ちたメンバーの説得が実り、11日の入部式には50名を超える新入部員がランキンチャペルに集まってくれた。この年はグリークラブ OBの完戸真人（76期・西南女学院教諭）先生に専任のボイストレーナーをお願いした。先生の仕事の合間を縫っての熱心な指導で、我々の合唱が音楽へ変化していくことを体感した。

6月13日の第25回福岡男声四大学合同演奏会は、我がグリークラブが幹事校であり、単独演奏は石丸貴康（93期）の指揮で多田武彦作曲の男声合唱組曲「雨」を、合同演奏は関屋晋先生の客演指揮、久邇之宣先生のピアノ伴奏で星野富弘作詩・新実徳英作曲の男声合唱とピアノのための「花に寄せて」を演奏した。

夏休み明けの９月にはいよいよ定演に向けての合宿を、今はもう無くなってしまった「油山青年の家」で始動した。その後も定演に向けて、練習、合宿、パートごとのオーディションと「歌漬け」の日々を送った。

第41回定期演奏会は12月12日に福岡サンパレスで開催された。福岡男声四大学に続いて、客演指揮に関屋晋先生、ピアノ伴奏に久邇之宣先生をお迎えした。関屋先生には私たちが希望した福永陽一郎編曲の「チャイコフスキー歌曲集」と、三好達治作詩・木下牧子作曲の男声合唱組曲「Enfance finie ～過ぎ去りし少年時代～」の指揮をお願いし、学生指揮者の石丸貴康の指揮で多田武彦作曲の男声合唱組曲「雨」と福永陽一郎編曲の「Sea Chanty」を演奏した。

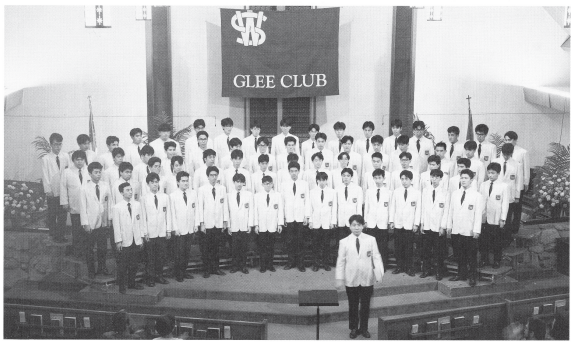
福永スピリットの素晴らしさを、この演奏会で改めて噛み締めることが出来た。関屋先生と久邇先生には、この一年を通してご指導頂き、我々西南グリーの魅力である明るいトーンを生かし、感情豊かな合唱を存分に引き出してくださったと思っている。

部員達も学生指揮者の石丸君を中心に、厳しい練習を乗り越え100名を超える部員の心を一つに纏め、定期演奏会に臨めたことは、大変大きな収穫であった。

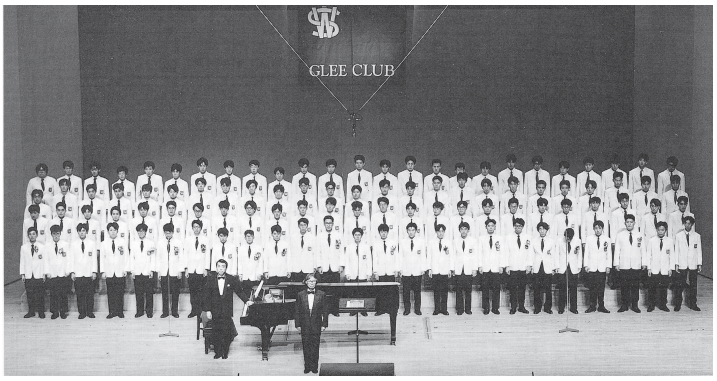
記述者　小田　泰資（93期）



関　屋　　晋 氏



第４回アメリカ演奏旅行

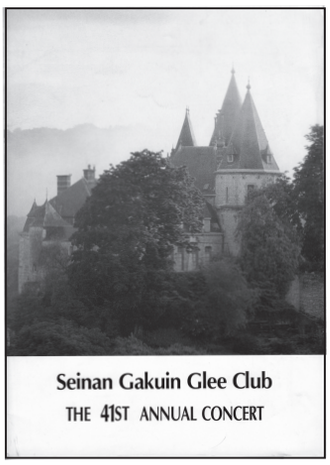


第 41 回定期演奏会



柳河・川下り

創立73周年　第41回定期演奏会　　1992年12月12日(土)　6:30p.m.　福岡サンパレス



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「雨」　　多田武彦：曲　　指揮：石丸貴康
・雨の来る前　・武蔵野の雨　・雨の日の遊動円木
・雨　雨　・雨の日に見る　・雨

Ⅱ　チャイコフスキー歌曲集　　福永陽一郎：編
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・何故？　・語るな、我が友よ　・騒がしい舞踏会で
・再びもとのように孤独で　・憧れを知る者のみが　・ドン・ファンのセレナーデ

Ⅲ　Sea Chanty　　Alice Parker & Robert Shaw、福永陽一郎 : 編
指揮：石丸貴康　guiter; 橋口貴俊
・Sailing Sailing　・What Shall We Do With The Drunken Sailor
・Spanish Laidies　・Shenandoah　・The Drummer And The Cook

Ⅳ　男声合唱組曲「Enfance finie」 ～過ぎ去りし少年時代～
三好達治：詩　　木下牧子：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・Enfance finie　・物語　・毀れた窓　・乳母車

部　長：安徳　典光
総　務：田町　大輔
人　事：渡邉　利夫
M　G：川越　洋二
M　G：村田　実
sub-MG：福根　克博
sub-MG：諸熊　敏明

会　計：山本　尚宏
sub- 会計：田坂　久幸
庶　務：横田　啓明
sub- 庶務：内田　宇彦
sub- 庶務：山口　和也
OB 担当：浦野　典人
Librarian：杉本　真也
Librarian：田中　啓司

指揮者：石丸　貴康
副指揮者：石原　円
副指揮者：大山　輝久
PL-T1：長澤　幹也
PL-T2：長谷川　仁
PL-B1：下川　桂
PL-B2：田村　祐一

TOP TENOR
石田　悦嗣 (93)
石丸　貴康 (93)
進藤　孝雄 (93)
高瀬　康治 (93)
恒成　卓哉 (93)
戸山　裕士 (93)
長澤　幹也 (93)
大山　輝久 (94)
川越　洋二 (94)
増崎　一茂 (94)
松永　俊 (94)
向井　弘一 (94)
横田　啓明 (94)
内田　圭一 (95)
佐藤　久晃 (95)
高原　勇治 (95)
諸熊　敏明 (95)
井上　康博 (96)
江頭　清輝 (96)
喜嶋　泰治 (96)
城戸　真司 (96)
清重　広樹 (96)
日下部一徳 (96)
西本　吉孝 (96)
野田　誠一 (96)
濱本　浩 (96)
宮崎　義人 (96)

SECOND TENOR
伊東　宗隆 (93)
小田　泰資 (93)
高田　洋 (93)
中村　彰則 (93)
長谷川　仁 (93)
梅崎　勝雅 (94)
田町　大輔 (94)
徳永　栄三 (94)
藤田　和徳 (94)
湯本　武志 (94)
和合　泰志 (94)
甲木　秀章 (95)
田坂　久幸 (95)
福根　克博 (95)
山口　和也 (95)
岩村　裕治 (96)
浦田　正史 (96)
金ヶ江　司 (96)
工藤　雄二 (96)
都志見　磨 (96)
原　康彦 (96)
前田　英彦 (96)
三戸　隆史 (96)
森　隆史 (96)
山崎　俊文 (96)

BARITONE
岡本　幸男 (93)
奥園　修三 (93)
下川　桂 (93)
渡辺　誠吾 (93)
浦野　典人 (94)
江頭　宏隆 (94)
柴田　信英 (94)
村田　実 (94)
山本　尚宏 (94)
渡邉　利夫 (94)
麻生　一徹 (95)
飯尾　達哉 (95)
池上　和弘 (95)
杉田　俊雄 (95)
杉本　真也 (95)
田中　啓司 (95)
中本　芳正 (95)
中山　健司 (95)
青井　康博 (96)
岩藤　大介 (96)
上田　浩仁 (96)
梅崎　亘生 (96)
沖本　圭司 (96)
桜井　和人 (96)
須山　孝之 (96)
二井　利成 (96)
橋口　貴俊 (96)
山崎　淳司 (96)

BASS
杉山　信幸 (93)
田村　祐一 (93)
古川　忠彦 (93)
石原　円 (94)
佐野　直人 (94)
原田　竜也 (94)
森本　宏 (94)
矢田　健 (94)
山田　達也 (94)
内田　宇彦 (95)
木村　茂喜 (95)
矢野　浩 (95)
渡辺　健 (95)
内村　浩三 (96)
大内田康徳 (96)
片桐　睦夫 (96)
河合　正道 (96)
吉川　真人 (96)
島田　大新 (96)
高田　浩光 (96)
橋本　英貴 (96)
濱　智哉 (96)
濱野　和弘 (96)
宮尾　賢二 (96)
宮本　秀樹 (96)
森　功兵 (96)

創立 74 周年（1993 年度：平成４～５年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

第41回定期演奏会の後、年末は休む間もないスケジュールに新体制は追われた。チャペルサービス、伊都文化会館演奏会、そして22日には福岡サンパレスでの福岡女学院主催の「メサイア」本番、24日の筑紫少女苑訪問でこの年を終えた。

年が明けて運営系役員の改選の後、春合宿を2月4日～6日に行ない、関西学院グリークラブとのジョイント演奏会に備えた。その間もＯＢの結婚式や、久留米の牟田山中学校音楽鑑賞会での演奏を行ない、3月11日に関学グリーとのジョイントを電気ホールで行なった。

関学グリーは、南弘明作曲のフランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」とタダタケの男声合唱組曲「雪国にて」、西南グリーはタダタケの男声合唱組曲「草野心平の詩から」を演奏、合同演奏は北村協一氏の指揮で「Nigro Spirituals」の大合唱であった。関学グリーの重厚な響きに大いに刺激をうけた。

卒業式、入学式と一連の新学期セレモニーに参加の後、6月21日に福岡市民会館での第26回福岡男声四大学合同演奏会に臨んだ。西南グリーは「月下の一群」を歌い、合同演奏は荒谷俊治氏の指揮で「オペラ合唱曲集」であった。「月下の一群」については、本年の定演で関屋先生に客演指揮をお願いした手前、この演奏会で歌うか否か意見の分かれるところであったが、我々は敢えてこれにチャレンジした。

7月に技術系役員を改選し、夏季休暇と前期試験の前後に12月の定演に向けての合宿を2回6日間、油山青年の家で実施した。10月から11月は、福岡シティマラソンセレモニー、二丈町の福吉小学校音楽鑑賞会、佐賀県立神崎高校音楽鑑賞会、福岡市立百道小学校校歌披露等多忙であった。

12月4日福岡サンパレスにおいて**第42回定期演奏会**を開催した。客演指揮者に関屋 晋氏、ピアノ伴奏に久邇之宣氏を迎え、第2ステージで「トスティ歌曲集」、第4ステージで「月下の一群」を演奏した。「トスティ歌曲集」の選曲理由について、関屋先生は「西南グリーの明るい、溢れるような声と歌心に惚れ惚れしていたので、イタリアの甘い歌が聞きたいと思った」と述べた。先に述べたように「月下の一群」は西南グリーが先生にお願いして演奏が実現したものである。また、学生指揮者の大山輝久（94期）は第1ステージで「草野心平の詩から」と第3ステージでピアノ伴奏に吉冨淳子氏を迎え、福永陽一郎編曲のミュージカル「The Sound of Music」を指揮した。福永陽一郎氏編曲のミュージカルを選曲したのは、現役グリーメン全員が、福永先生が亡くなられた後の入部で、直接、先生を知る者がいなくなった為、敢えて先生の楽曲を歌うことで、先生を知ろうとしたからである。

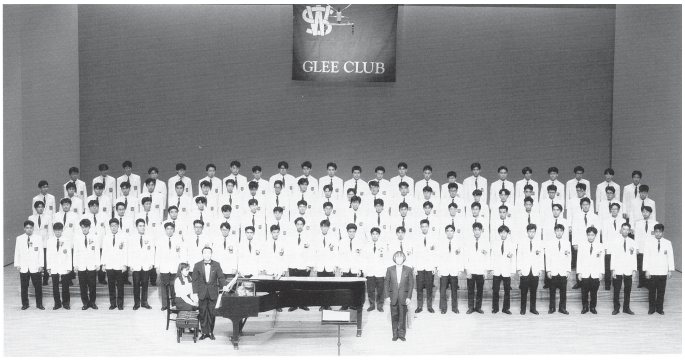
この年は特筆すべきことが二つあった。一つはボイストレーナーとしてＯＢの完戸真人氏（76期）に来て頂いたことである。そのきっかけは、3月の関学グリーとのジョイントでの北村協一先生である。それまでの西南グリーの声の質に変化が出てきたように思う。もう一つは「U Boj」。この曲の正式な（関学グリー伝承曲でない）楽譜を取り寄せ、一から歌い直したことである。この為、困ったことに、ＯＢと共に集まり「U Boj」を歌う時、我々の歌う「U Boj」と先輩方の「U Boj」で違いが生じ、歌いにくくなったことである。

最後に、この寄稿を2007年に亡くなった94期のセカンド・パートリーダーであった同期の仲間、湯本武志君（享年35歳）に捧ぐ。

記述者　柴田　信英（94期）



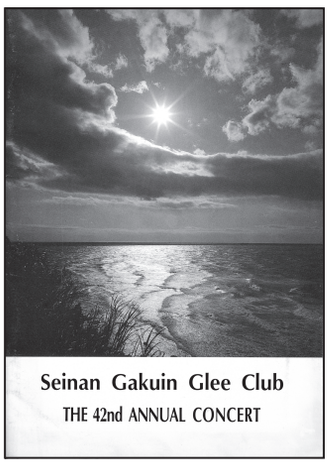
関西学院グリークラブとのジョイントコンサート



第４２回定期演奏会

創立74周年　第42回定期演奏会

1993年12月16日(木)　6:30p.m.　福岡サンパレス



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「草野心平の詩から」　草野心平：詩　多田武彦：曲
指揮：大山輝久

・石家荘にて　・天　・金魚　・雨　・さくら散る

Ⅱ　トスティ歌曲集　F. P. Tosti：曲　北村協一：編
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜

・Aprile（四月）　・La Serenata（セレナーデ）　・Ideale（理想の女）
・L'Ultima canzone（最後の歌）　・Addio!（さようなら）

Ⅲ　The Sound of Music　指揮：大山輝久　piano：吉冨淳子
Oscar Hammerstein Ⅱ：詞　Richard Rodgers：曲　福永陽一郎：編

・The Sound of Music　・My Favorite Things
・The Lonely Goatherd　・Edelweiss　・Climb Ev'ry Mountain

Ⅳ　フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群」　堀口大学：詩　南　弘明：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜

・小曲　・輪踊り　・人の云ふことを信じるな
・催眠歌（海よ）　・秋の歌

部　長：安徳　典光
総　務：高原　勇治
人　事：渡辺　　健
M　G：福根　克博
M　G：諸熊　敏明
sub-MG：濱　　智哉
sub-MG：前田　英彦

会　計：田坂　久幸
sub- 会計：須山　孝之
庶　務：山口　和也
sub- 庶務：高田　浩光
sub- 庶務：宮本　秀樹
OB 担当：池上　和弘
Librarian：浦田　正史
Librarian：二井　利成

指揮者：大山　輝久
副指揮者：内田　圭一
副指揮者：田中　啓司
PL-T1：松永　　俊
PL-T2：湯本　武志
PL-B1：柴田　信英
PL-B2：森本　　宏

TOP TENOR
大山　輝久 (94)
川越　洋二 (94)
増崎　一茂 (94)
松永　　俊 (94)
向井　弘一 (94)
横田　啓明 (94)
内田　圭一 (95)
佐藤　久晃 (95)
高原　勇治 (95)
諸熊　敏明 (95)
井上　康博 (96)
喜嶋　泰治 (96)
城戸　真司 (96)
日下部一徳 (96)
野田　誠一 (96)
濱本　　浩 (96)
前田　英彦 (96)
宮崎　義人 (96)
尾窪　隆司 (97)
嘉屋　崇之 (97)
樋垣　政典 (97)
堀　　憲文 (97)
松村　弘文 (97)

SECOND TENOR
梅崎　勝雅 (94)
田町　大輔 (94)
徳永　栄三 (94)
藤田　和徳 (94)
湯本　武志 (94)
和合　泰志 (94)
甲木　秀章 (95)
田坂　久幸 (95)
福根　克博 (95)
山口　和也 (95)
岩村　裕治 (96)
浦田　正史 (96)
都志見　磨 (96)
原　　康彦 (96)
三戸　隆史 (96)
森　　隆史 (96)
山崎　俊文 (96)
唐川　幸治 (97)
坂本　卓也 (97)
清水　達也 (97)
副島　哲也 (97)
筒井　俊行 (97)
堤　　淳 (97)
古川　健太 (97)

BARITONE
浦野　典人 (94)
江頭　宏隆 (94)
柴田　信英 (94)
村田　　実 (94)
山本　尚宏 (94)
渡邉　利夫 (94)
麻生　一徹 (95)
飯尾　達哉 (95)
池上　和弘 (95)
杉田　俊雄 (95)
杉本　真也 (95)
中本　芳正 (95)
中山　健司 (95)
青井　康博 (96)
岩藤　大介 (96)
梅崎　亘生 (96)
沖本　圭司 (96)
桜井　和人 (96)
須山　孝之 (96)
二井　利成 (96)
橋口　貴俊 (96)
山崎　淳司 (96)
稲永　真人 (97)
加治　和人 (97)
田中　孝幸 (97)
成清　康弘 (97)
村田　和久 (97)
山田　正敏 (97)

BASS
石原　　円 (94)
佐野　直人 (94)
原田　竜也 (94)
森本　　宏 (94)
矢田　　健 (94)
内田　宇彦 (95)
木村　茂喜 (95)
田中　啓司 (95)
矢野　　浩 (95)
渡辺　　健 (95)
上田　浩仁 (96)
内村　浩三 (96)
大内田康徳 (96)
片桐　睦夫 (96)
河合　正道 (96)
清重　広樹 (96)
高田　浩光 (96)
橋本　英貴 (96)
濱　　智哉 (96)
宮本　秀樹 (96)
重松　功二 (97)
土井　宗三 (97)
鍋内　和博 (97)
野見山宗貴 (97)
山崎　詔基 (97)

創立 75 周年（1994 年度：平成５～６年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

前年の「第42回定期演奏会」は、関係者から演奏の面で高い評価を得る事となった。
定演終了後も、年末恒例の「メサイア」、「筑紫少女苑訪問演奏」をこなし、この年を終えた。

平成6年を迎え、運営系役員改選を経ての新体制下、2月の春季強化合宿にて、創立75年度のスタートを切った。前年の演奏クオリティーを超えたいという思いがあった。

3月11日、関西学院グリークラブとのジョイントコンサートを開催。

4月、新入生勧誘の時期を迎えた。学生団体にとって最重要イベントである。あの手この手でグリーの魅力を伝えた。私は魅力のひとつに「男しかいない事の楽しさ」を伝えた。何かしらの魅力を感じてくれたのか、こうして新一年生98期生を仲間として迎えることができた。当時、「コンプライアンス」「ハラスメント」等の言葉はまだ無い時代だった。幸いだった…。

6月11日、「第27回福岡男声四大学合同演奏会」を開催。合同ステージでは坪田昌宏先生指揮による「アイヌのウポポ」を演奏した。四大学の合唱団はそれぞれに個性的で合唱スタイルも全く異なる。毎年演奏会の企画・調整は大変だったが、互いの交流を深め見聞を広める事ができた。

7月30日、有田ポーセリンパーク音楽祭に出演。当時でも珍しい夏休み期間中の演奏会出演であった。夏休みが明けると定演まで残り3か月余り。全開モードである。

3回の強化合宿を行い、また時には深夜に及ぶオーディションを受けながら、曲を仕上げた。特に学祭期間中に行われる最後の強化合宿では、学祭で盛り上がる同窓生達を羨ましく思いながら、油山の合宿所へ籠った。従って当時の団員には、学祭の楽しい思い出があまり無い。しかし、今では合宿も楽しい思い出として残っている…。

合宿直後の11月11日、「西南シャントゥール創立40周年記念定期演奏会」に賛助出演。

そして12月9日、福岡サンパレスにて、「**第43回定期演奏会**」を開催した。オンステメンバーは91名。年号が平成に変わる頃の数年間、西南グリーの団員数は100名を超えていた。それに伴い定演会場を福岡サンパレスに変更、キャパ2,300人を超える大ホールであるが、満席に近い聴衆を集めた事もあったという。当時は団員数も若干減少傾向になっていたが、それでも1,400名程を動員できる集客力があった。まだまだ、地方のグリークラブも活発な活動ができており、応援してくれるファンも多い時代だった。　客演指揮に関屋晋先生、ピアノ伴奏に久邇之宣先生を迎えて、須田和宏編曲「夢の肖像」・木下牧子作曲「真夜中」を演奏。学生指揮者 内田圭一にて「中原中也の詩から」、「Robert Shaw Chorus Album」を演奏した。また、今回初めて完戸真人先生に客演を依頼。吉冨淳子先生のピアノ伴奏により、プーランク作曲「GLORIA」を指揮いただいた。全5ステージで、客演に二人の先生を迎えるという、大変豪華な定演であった。

そして、これを以って95期生20名が西南グリーを卒団した。

この定演後、完戸先生には長年に渡りご指導いただく事になる。西南グリーにとって大きな柱であった福永陽一郎先生を直接知る世代は既に卒団しており、我々は北村協一先生・関屋晋先生を経て、完戸真人先生へと指導者の変遷を辿った世代であった。

この定演を終えて間もない平成7年1月17日、阪神・淡路大震災が発生、続けて3月に地下鉄サリン事件が発生。社会的に大きな事件が立て続けに起こり、記憶に残る年であった。

記述者　諸熊　敏明(95期)



1994.11.11 西南シャントゥール 40 周年記念演奏会賛助出演



完戸真人　氏

創立75周年　第43回定期演奏会

1994年12月9日(金)　6:30p.m.　福岡サンパレス



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「中原中也の詩から」　中原中也：詩　多田武彦：曲
指揮：内田圭一

・北の海　・汚れっちまった悲しみに　・間奏曲
・雲雀　・六月の雨　・月の光

Ⅱ　Francis Poulenc "GLORIA" より　完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子

・Gloria　・Domine Deus　・Domine Fili unigenite
・Qui sedes ad dexteram Patris

Ⅲ　「夢の肖像」　須田和宏：編　指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜

・夢伝説　・Daydream Believer　・My Dream　・夢をあきらめないで
・When you wish upon a star（星に願いを）　・ゆめいっぱい

Ⅳ　Robert Shaw Chorus Album　指揮：内田圭一

・Vive L'Amour　・Good Night, Ladies　・Grandfather's Clock
・Love's Old Sweet Song　・Stars of the Summer Night

Ⅳ　男声合唱組曲「真夜中」　清岡卓行：詩　木下牧子：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜

・真夜中　・思い出してはいけない　・愉快なシネカメラ

部　長：安徳　典光

総　務：山崎　俊文
人　事：梅崎　亘生
M　G：濱　智哉
M　G：前田　英彦
sub-MG：坂本　卓也
sub-MG：清水　達也

会　計：須山　孝之
sub- 会計：稲永　真人
庶　務：宮本　秀樹
sub- 庶務：加治　和人
sub- 庶務：重松　功二
OB 担当：岩村　裕治
Librarian：嘉屋　崇之
Librarian：山田　正敏

指揮者：内田　圭一
副指揮者：井上　康博
副指揮者：河合　正道
PL-T1：佐藤　久晃
PL-T2：甲木　秀章
PL-B1：飯尾　達哉
PL-B2：矢野　浩

TOP TENOR
内田　圭一 (95)
佐藤　久晃 (95)
高原　勇治 (95)
諸熊　敏明 (95)
井上　康博 (96)
喜嶋　泰治 (96)
城戸　真司 (96)
日下部一徳 (96)
野田　誠一 (96)
濱本　浩 (96)
前田　英彦 (96)
宮崎　義人 (96)
嘉屋　崇之 (97)
樋垣　政典 (97)
堀　憲文 (97)
鹿山　安隆 (98)
田岡　政晃 (98)
津留　宏至 (98)
藤崎　圭規 (98)
村田　尚吾 (98)

SECOND TENOR
甲木　秀章 (95)
田坂　久幸 (95)
福根　克博 (95)
山口　和也 (95)
岩村　裕治 (96)
浦田　正史 (96)
都志見　磨 (96)
原　康彦 (96)
三戸　隆史 (96)
森　隆史 (96)
山崎　俊文 (96)
坂本　卓也 (97)
清水　達也 (97)
副島　哲也 (97)
筒井　俊行 (97)
堤　淳 (97)
岡部　順升 (98)
亀井　幹登 (98)
佐藤　博一 (98)
田口　慎吾 (98)
廣門　和久 (98)
深町　豪 (98)

BARITONE
麻生　一徹 (95)
飯尾　達哉 (95)
池上　和弘 (95)
杉田　俊雄 (95)
杉本　真也 (95)
中本　芳正 (95)
中山　健司 (95)
青井　康博 (96)
岩藤　大介 (96)
梅崎　亘生 (96)
沖本　圭司 (96)
桜井　和人 (96)
須山　孝之 (96)
二井　利成 (96)
橋口　貴俊 (96)
山崎　淳司 (96)
稲永　真人 (97)
加治　和人 (97)
村田　和久 (97)
山田　正敏 (97)
加賀田　健 (98)
鹿子木博一 (98)
樋口　貴敏 (98)
古田　裕史 (98)
松嶋　哲司 (98)

BASS
内田　宇彦 (95)
木村　茂喜 (95)
田中　啓司 (95)
矢野　浩 (95)
渡辺　健 (95)
上田　浩仁 (96)
内村　浩三 (96)
大内田康徳 (96)
片桐　睦夫 (96)
河合　正道 (96)
清重　広樹 (96)
高田　浩光 (96)
橋本　英貴 (96)
濱　智哉 (96)
宮本　秀樹 (96)
重松　功二 (97)
土井　宗三 (97)
鍋内　和博 (97)
野見山宗貴 (97)
川口　謙 (98)
杉山　稲夫 (98)
高田　進也 (98)
廣中　亮太 (98)
宮田　王惠 (98)

創立 76 周年（1995 年度：平成６～７年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

第43回定期演奏会を終えると、新しく指揮者・パートリーダーが技術系役員として任務に就き、運営系役員はそのままに新体制が始まる。この年は春に予定しているアメリカ演奏旅行向けの実行委員会も存在しており、同学年の中で３つの役割分担があり、それぞれが任務を行なっていた。この年も福岡女学院の「メサイア」の後、筑紫少女苑へのボランティア訪問を行なった。

２月25日から３月12日迄、**第５回アメリカ演奏旅行**を行なった。西海岸のロスアンゼルスから東海岸のニューヨーク迄の演奏旅行で、途中リッチモンドでは、ミセス・ドージャー老人ホームで演奏をした。

アメリカ演奏旅行から帰国後の４月は、旅行時の強い結束のもと新入部員の勧誘に当たった。50名を目標としたが、この年の入部者は30名であった。総勢90名の体制で６月の福岡男声四大学合同演奏会に向け練習を開始した。１年生は３年生以下で臨む西南音楽祭と、四大学の単独ステージでデビューするのが恒例であった。これから合唱に取り組む者にとっては有難いプログラムであったが、その後いつしか、四大学でも客演指揮者の難しい曲にも取り組むことが増え、合唱を始めたばかりの者には厳しい環境になっていった。

この年は大学同窓会支部のいくつかの催しに招かれ、６月には「嘉飯山支部」11月には「佐世保支部結成40周年・西海国立公園指定40周年」記念の特別演奏会を開催して戴いた。ここ数年の定演ではア・カペラの曲が減っていたこともあり、外部での演奏会では極力ア・カペラを中心にステージ構成をした。

夏休みが終わると一気に定演へ向けての厳しい練習が始まった。９月から11月迄の間に都合３回の強化合宿を油山青年の家で実施、毎回３～４日間は、歌う、食う、寝るだけの生活であった。

第44回定期演奏会は12月８日、福岡サンパレスで開催。昨年に続き関屋晋氏とＯＢの完戸真人氏（76期）に客演をお願いした。完戸氏には新実徳英作曲の「二つの新しい男声合唱曲」を、関屋氏には福永陽一郎編曲の「リヒャルト・シュトラウス歌曲集」と佐藤　眞作曲の男声合唱のための組曲「若人の歌」を、そして学生指揮者の井上康博（96期）がミュージカル「ラ・マンチャの男」を指揮した。ピアノ伴奏は久邇之宣氏と吉冨淳子氏にお願いした。



第5回米国演奏旅行―ニューヨーク州立大学オネオンタ校にて

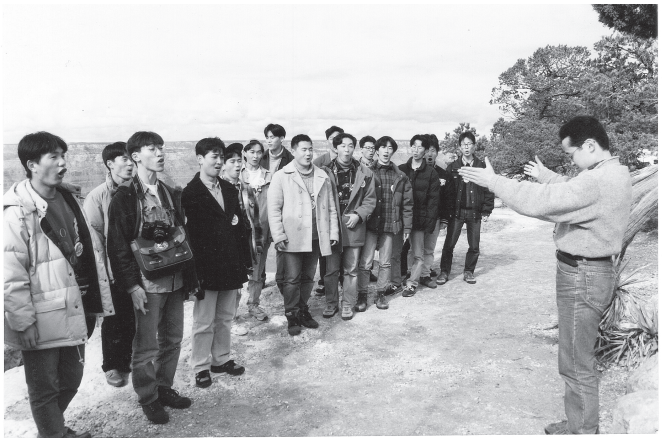
ミュージカル「ラ・マンチャの男」では台詞をつけた本格的ステージとなった。数年後、グリーのステージではミュージカルのステージが定番となり、完戸氏の台本、編曲には吉冨淳子氏も加わり、西南女学院の学生やＯＧを含めたステージへと変遷していくこととなった。

私達は同期だけで33名であったが、この頃から大学の学生の男女比率で女子が増加していくという背景もあり、学生のクラブ活動離れが進行し始め、その後は更にこの傾向が顕著になっていった。

記述者　日下部　一徳（96期）



第5回米国演奏旅行―ガーディナバプテスト教会にて


グランドキャニオンにて

創立76周年　第44回定期演奏会

1995年12月8日(金)　6:30p.m.　福岡サンパレス



210×297mm

Ⅰ　二つの新しい男声合唱曲　中原中也：詩　新実徳英：曲
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
・生きる（谷川俊太郎：詩）　・聞こえる（岩間芳樹：詩）

Ⅱ　リヒャルト・シュトラウス歌曲集　Richard Strauss：曲　福永陽一郎：編
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・Heimlich Aufforderung　・Wiegenlied　・Cäcilie
・Morgen!　・Frühlingsfeier

Ⅲ　ミュージカル「ラ・マンチャの男」　指揮：井上康博　piano：吉冨淳子
Joe Darion：詞　Mitch Leigh：曲　福永陽一郎・源田俊一郎：編
・Man of La Mancha　・Dulcinea　・I really like him
・Golden helmet of Mambrino　・The impossible dream

Ⅳ　男声合唱のための組曲「若人のうた」　中沢昭二：詩　佐藤　眞：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・凧　・貝　・草

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟・朝日新聞社・FM 福岡・KBC 九州朝日放送

部　長：安徳　典光
総　務：鍋内　和博
人　事：野見山宗貴
M　G：坂本　卓也
M　G：清水　達也
sub-MG：川口　謙
sub-MG：深町　豪

会　計：稲永　真人
sub- 会計：村田　尚吾
庶　務：重松　功二
sub- 庶務：高田　進也
sub- 庶務：樋口　貴俊
OB 担当：岩村　裕治
Librarian：鹿子木博一
Librarian：廣門　和久

指揮者：井上　康博
副指揮者：嘉屋　崇之

PL-T1：野田　誠一
PL-T2：原　康彦
PL-B1：二井　利成
PL-B2：河合　正道

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
井上　康博 (96)	岩村　裕治 (96)	青井　康博 (96)	上田　浩仁 (96)
喜嶋　泰治 (96)	浦田　正史 (96)	岩藤　大介 (96)	内村　浩三 (96)
日下部一徳 (96)	都志見　磨 (96)	梅崎　亘生 (96)	大内田康徳 (96)
野田　誠一 (96)	原　康彦 (96)	沖本　圭司 (96)	片桐　睦夫 (96)
濱本　浩 (96)	三戸　隆史 (96)	桜井　和人 (96)	河合　正道 (96)
前田　英彦 (96)	森　隆史 (96)	須山　孝之 (96)	清重　広樹 (96)
宮崎　義人 (96)	山崎　俊文 (96)	二井　利成 (96)	高田　浩光 (96)
嘉屋　崇之 (97)	坂本　卓也 (97)	橋口　貴俊 (96)	橋本　英貴 (96)
樋垣　政典 (97)	清水　達也 (97)	山崎　淳司 (96)	濱　智哉 (96)
堀　憲文 (97)	副島　哲也 (97)	稲永　真人 (97)	宮本　秀樹 (96)
鹿山　安隆 (98)	筒井　俊行 (97)	加治　和人 (97)	重松　功二 (97)
田岡　政晃 (98)	堤　淳 (97)	村田　和久 (97)	土井　宗三 (97)
津留　宏至 (98)	亀井　幹登 (98)	山田　正敏 (97)	鍋内　和博 (97)
藤崎　圭規 (98)	廣門　和久 (98)	鹿子木博一 (98)	野見山宗貴 (97)
村田　尚吾 (98)	深町　豪 (98)	樋口　貴敏 (98)	川口　謙 (98)
古賀　亮一 (99)	浦前　朋宏 (99)	桑本　知明 (99)	高田　進也 (98)
藤本　朋広 (99)	大道　国夫 (99)	進藤英太郎 (99)	宮田　王惠 (98)
三浦　史明 (99)	小野　大介 (99)	高木　勇 (99)	梅津　晃 (99)
元永　信和 (99)	木村　一輝 (99)	筒井　拓史 (99)	江口　真人 (99)
和田　崇宏 (99)	竹井　康晃 (99)	轟木　保弘 (99)	大村　則之 (99)
	富永　憲司 (99)	仲西　洋平 (99)	小泉　慶 (99)
	中村　芳彦 (99)	八谷　太朗 (99)	廣渡　将文 (99)
	御厨　孝幸 (99)	山脇　孝 (99)	吉丸　紀道 (99)

創立 77 周年（1996 年度：平成７～８年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

平成５年私達が入部した時、西南グリーは100名を越す大所帯で、練習場であるランキンチャペルの雛壇に乗り切れない状況であった。しかし４年の間にはサークル離れ現象等で徐々に部員も減少していった。そんな中でもグリーメンは互いに協力し、アメリカ演奏旅行や盛大な定期演奏会を行った。それらは今振り返ると楽しい思い出に満されている。

第44回定演を終えると、西南市民クリスマスや福岡女学院とのメサイアに参加、オーケストラと共演し歌うことも面白く貴重な体験であった。平成８年２月には西南女学院高校音楽部と混声合唱団トニカとのジョイントに賛助出演した。これはＯＢでもあり、当時のグリーの熱心な指導者であった完戸真人先生（76期）のお誘いを受け実現したものであった。

３月には関西学院グリークラブとのジョイント・コンサートを福岡市民会館で行ない、旧交を温めた。また3月23日には西南女学院高校音楽部と「東京ジョイントコンサート」を東京銀座中央会館で開催した。東京で演奏するという事は大きな挑戦であり緊張もしたが、演奏会では多くの東京のお客様に西南グリーの歌声を聴いていただけた事が何よりも嬉しかった。

４月には新入生を迎え日々厳しい練習が続いた。特に演奏会前ともなると、授業の合間や正規の練習の後にも西南会館で何人かで集まり夜遅くまで練習した。練習の後は先輩も後輩も一緒になって行きつけの定食屋で合唱や人生について熱い議論を交わしたものであった。男ばかりでの飲み会や花見の度に交わしたこうした議論も、今では良き思い出である。

大学のチャペルサービスや小学校でのミニ演奏会を行いながら、６月には西南音楽会や第29回福岡４大学合同演奏会に出演した。日常では12月の定期演奏会の成功に向けての厳しい練習に明け暮れる毎日であった。

第45回定期演奏会は、平成8年12月7日福岡サンパレスで開催できた。客演指揮者の関屋晋先生の指揮で「かみさまへのてがみ」（谷川俊太郎詩・高嶋みどり曲）と「森と狩りの歌」～５つの狩りの歌（シューマン）・森の夜の歌（シューベルト）～の２ステージ、完戸真人先生の指揮で「オクラホマ」と「さだまさしアルバム」の２ステージ、そして学生指揮者の嘉屋崇之（97期）の指揮で「柳河風俗詩」と5ステージ構成であった。



1996.06.14 福岡男声四大学合同演奏会



関屋先生は福永陽一郎先生亡き後の西南グリーの事を本当に気にかけて下さり、熱心なご指導をいただいた。練習ではにこにこしながら「君達は固すぎるんだよ～。もっと笑顔で」とよく話された。関屋マジックというのか、先生が振ると演奏がぐっと良くなった。

また完戸先生指揮の「オクラホマ」はミュージカル仕立てで、合唱に合わせての振り付けがあり大変であったが、グリーメンも練習を重ねた結果何とか乗り切ることが出来た。

お客様にも広く楽しんでいただけるように、ステージ構成もミュージカルやポピュラーソングを取り入れ工夫していた。客席のお客様からの笑い声が聞こえ、合唱とともに楽しんでいただいたことを実感した。内容たっぷりの定期演奏会で、くたくたになったが、終わった後の達成感を部員全員が感じることができた思い出深い定期演奏会であった。

記述者・稲永　真人（97 期）

創立77周年　第45回定期演奏会

1996年12月7日(土)　6:30p.m.　福岡サンパレス



Seinan Gakuin Glee Club
THE 45th ANNUAL CONCERT

210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「柳河風俗詩」　北原白秋：詩　多田武彦：曲　指揮：嘉屋崇之
・柳河　・紺屋のおろく　・かきつばた　・梅雨の晴れ間

Ⅱ　男声合唱のための「かみさまへのてがみ」　谷川俊太郎：詩　高嶋みどり：曲
指揮：関屋　晋　piano：吉冨淳子
・かみさまへのたがみ　・わたしは　あんしんです
・てんごくって　どんなかんじ　Ⅰ　・てんごくって　どんなかんじ　Ⅱ　・終曲

Ⅲ　ミュージカル「オクラホマ」より　指揮：嘉屋崇之　piano：吉冨淳子
Oscar Hammerstein Ⅱ：詞　Richard Rodgers：曲　源田俊一郎：編
・Introduction - Oh, what a beautiful morning
・The surrey with the Fringe on top　・People will say we're in love
・Pore Jud is daid　・The farmer and cowman　・Finale - Oklahoma!

Ⅳ　「最終案内」～さだまさしアルバム～　吉冨淳子&完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子　賛助：西南女学院OG
・最終案内　・恋愛症候群　・October ～リリー・カサブランカ～　・心の瞳

Ⅴ　「森と狩りの歌」　指揮：関屋　晋
horn：東　正行・木原寿之・紫村百合子・松川　尚・中野瑞穂
・Fünf　Jagdlieder　Heinrich Laubes：詩　Robert Schumann
・Zur hohen Jagd　・Habet Acht!　・Jagdmorgen　・Frühe　・Bei der Flasche
・Nachtgesang im Walde　Joh, Gabriel Seidl：詩　Franz Schubert：曲

部　長：安徳　典光

総　務：津留　宏至
人　事：田岡　政晃
M　G：深町　豪
sub-MG：竹井　康晃
sub-MG：筒井　拓史

会　計：村田　尚吾
sub- 会計：藤本　朋広
庶　務：樋口　貴俊
sub- 庶務：高木　勇
sub- 庶務：廣渡　将文
OB 担当：亀井　幹登
Librarian：和田　崇宏
Librarian：八谷　太朗

指揮者：嘉屋　崇之
副指揮者：宮田　王恵

PL-T1：堀　憲文
PL-T2：堤　淳
PL-B1：山田　正敏
PL-B2：土井　宗三

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
嘉屋　崇之 (97)	坂本　卓也 (97)	稲永　真人 (97)	重松　功二 (97)
樋垣　政典 (97)	清水　達也 (97)	加治　和人 (97)	土井　宗三 (97)
堀　憲文 (97)	副島　哲也 (97)	村田　和久 (97)	鍋内　和博 (97)
田岡　政晃 (98)	筒井　俊行 (97)	山田　正敏 (97)	野見山宗貴 (97)
津留　宏至 (98)	堤　淳 (97)	鹿子木博一 (98)	高田　進也 (98)
村田　尚吾 (98)	亀井　幹登 (98)	樋口　貴敏 (98)	宮田　王恵 (98)
藤本　朋広 (99)	廣門　和久 (98)	高木　勇 (99)	梅津　晃 (99)
三浦　史明 (99)	深町　豪 (98)	筒井　拓史 (99)	江口　真人 (99)
元永　信和 (99)	小野　大介 (99)	轟木　保弘 (99)	大村　則之 (99)
和田　崇宏 (99)	木村　一輝 (99)	仲西　洋平 (99)	小泉　慶 (99)
荒木　規夫 (00)	竹井　康晃 (99)	八谷　太朗 (99)	廣渡　将文 (99)
平田　雄嗣 (00)	富永　憲司 (99)	木村　文則 (00)	吉丸　紀道 (99)
村上　剛人 (00)	岩佐　聖臣 (00)	栗原　大樹 (00)	浦﨑　晃浩 (00)
龍　毅 (00)	上田　卓也 (00)	佐野　将史 (00)	黒木　孝臣 (00)
	片岡　潤也 (00)	平原　幸司 (00)	田中　豊 (00)
	清原　圭司 (00)	柳田　憲吾 (00)	永本　貴志 (00)
	﨑畑　俊紀 (00)	吉田　貞雄 (00)	三原興一郎 (00)

入学時のクラブオリエンテーションでの、グリーの先輩達が歌うハーモニーを聴いて鳥肌がたち、男声合唱の重厚で荘厳な音色に圧倒された。大人数での男声ならではの魅了であった。また、1年生時の定期演奏会では、100名近い多くのメンバーで歌えたことも大変心強く、気持ちの良いものであった。　しかし、私達98期生はこれまでの90年代の中では10名という最も少ない人数で、グリーの運営を切り盛りしなければならない世代であった。毎年学年が上がるにつれて部員数が減っていく現実を見て、何とか自分達が入学した頃の大人数のグリーに復元させたいという思いで、新入生の勧誘活動に力を入れたものである。

結果的に、私達が４年時の第46回定期演奏会の時のメンバー数は入学時の部員数の半分程の人数で行なうことになった。98期を界にして部員数が減っていったことに責任を感じるが、それだけに学年を問わず部員間で大変濃い付き合いができたと感じている。また、演奏面においても人数が少ないが故に個々の部員にはレベルの高い演奏が求められ、より完成度の高いものになっていたと思っている。

平成９年の活動の主なものは３つある。3月に東京の渋谷で前年に引き続き西南女学院高校音楽部とのジョイントコンサートを実施した。客演指揮者に関屋晋氏を迎えての演奏会であったが、お客様の入りも想像以上に多かったと記憶している。演奏会の終了後には東京在住のＯＢ会の先輩方に盛大な懇親会を開いていただき、現役・ＯＢを問わずに同じグリーメンであるという結びつきに大変心を打たれた。

６月はこの年30回の節目を迎えた恒例の、福岡男声四大学合同演奏会を福岡市民会館で実施した。この頃になると他の３大学もグリー同様にメンバー数が減少し始めていた。

第46回定期演奏会は平成9年12月12日メルパルクホール福岡で、客演指揮者に関屋晋氏、ピアノ伴奏に久邇之宣氏を迎えて開催した。オンステしたグリーのメンバーは48名であった。関屋晋氏は第２ステージで、ブラームスの「愛の歌」と第４ステージの男声合唱組曲「縄文“愛“」を指揮。第３ステージではＯＢの完戸真人氏（76期）の指揮で「ミュージカル“オペラ座の怪人”より」を歌った。ピアノ伴奏は吉冨淳子氏であった。学生指揮者の宮田王恵（98期）はオープニングで、男声合唱組曲「雪国にて」を指揮した。


第 46 回定期演奏会

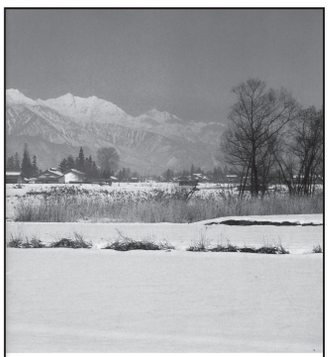


第 30 回記念　福岡男声四大学合同演奏会

今回の演奏会は例年と若干趣向が異なり、ホルンや女声ソリストとの共演を行なった。普段アカペラやピアノ伴奏ばかりの演奏に慣れている私達にとって、これらの楽器や女声ソリストとのハーモニーの融合はとても新鮮であった。関屋先生の指揮もこれまでになく力が入り、力強さの中に繊細さを合わせ持ち、絶えず歌う楽しさを大事にされる先生の指揮が忘れられない。学生指揮者の宮田は中学時代からの合唱経験を生かし、表現力豊かな指揮と責任感溢れる指導力でグリーをリードしてくれた。演奏会を終えると寂しさよりも安堵感が強かったように思う。しかし演奏会を終え、初めて仲間の有り難味に気づくことも多く、今後もこの友情を大切にしていきたいと願っている。

記述者・亀井　幹登（98期）

創立78周年　第46回定期演奏会　1997年12月12日(金)　6:30p.m.　メルパルクホール福岡



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「雪国にて」　堀口大學：詩　多田武彦：曲　指揮：宮田王惠
・関川の里　・ある誕生　・雪の中の歌　・昔の雪　・老雪　・雪中越冬

Ⅱ　Liebeslieder-walzer（愛の歌） 指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜・吉冨淳子
G. F. Daumer：詩　Johannes Brahms：曲　荒谷俊治：編
・Rede, Madchen, allzu liebes　・Am Gesteine rauscht die Flut　・O die Frauen
・Wie des Abends schone Rote　・Die grune Hopfenranke　・Ein kleiner, hubscher Vogel
・Wohl schon bewandt war es　・Wenn so lind dein Auge mir　・Am Donaustrande
・O wie sanft die Quelle　・Nein, es ist nicht auszukommen
・Schlosser auf, und mache Schlosser　・Vogelein durchrauscht die Luft
・Sieh, wie ist die Welle klar　・Nachtigall, sie singt so schon
・Ein dunkeler Schacht ist Liebe　・Nicht wandle, mein Licht　・Es bebet das Gestrauche

Ⅲ　ミュージカル「オペラ座の怪人」より
C. Hart & R. Stilgoe：詞　A. L. Webber：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子　soprano: 白川深雪
・Think of me　・Angel of music　・The Phantom of the opera
・The music of the night　・Masquerade　・All I ask of you　・Finale

Ⅳ　男声合唱組曲「縄文”愛”」　宗　左近：詩　荻久保和明：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・火焔土器　・花いちもんめ　・ララバイ　ひな鳥　・夕映え

部　長：安徳　典光

総　務：江口　真人
人　事：吉丸　紀道
M　G：竹井　康晃
M　G：筒井　拓史
sub-MG：清原　圭司
sub-MG：三原興一郎

会　計：藤本　朋広
sub- 会計：荒木　規夫
庶　務：高木　勇
sub- 庶務：永本　貴志
sub- 庶務：龍　毅
OB 担当：轟木　保弘
Librarian：浦﨑　晃浩
Librarian：片岡　潤也

指揮者：宮田　王惠
副指揮者：小野　大介
副指揮者：八谷　太朗
PL-T1：津留　宏至
PL-T2：廣門　和久
PL-B1：鹿子木博一
PL-B2：高田　進也

TOP TENOR
田岡　政晃 (98)
津留　宏至 (98)
村田　尚吾 (98)
藤本　朋広 (99)
三浦　史明 (99)
和田　崇広 (99)
荒木　規夫 (00)
平田　雄嗣 (00)
龍　毅 (00)
岸田　大志 (01)
小坪　俊宏 (01)
坂谷　裕馬 (01)
田中　秀人 (01)
藤井　俊二 (01)
前田　智三 (01)

SECOND TENOR
亀井　幹登 (98)
廣門　和久 (98)
深町　豪 (98)
小野　大介 (99)
木村　一輝 (99)
竹井　康晃 (99)
富永　憲司 (99)
岩佐　聖臣 (00)
片岡　潤也 (00)
清原　圭司 (00)
古賀　揚輔 (01)
角　国千 (01)
徳永　征示 (01)
中尾　隆宏 (01)
中山　敬二 (01)
畑　和成 (01)
米澤　孝志 (01)

BARITONE
鹿子木博一 (98)
樋口　貴敏 (98)
高木　勇 (99)
筒井　拓史 (99)
轟木　保弘 (99)
仲西　洋平 (99)
八谷　太朗 (99)
佐野　将史 (00)
永本　貴志 (00)
塚本　拓 (01)
仁木　賢則 (01)
能塚　誠 (01)
福田　智博 (01)
本嶋　俊也 (01)
諸岡　正芳 (01)

BASS
高田　進也 (98)
宮田　王惠 (98)
梅津　晃 (99)
江口　真人 (99)
大村　則之 (99)
小泉　慶 (99)
廣渡　将文 (99)
吉丸　紀道 (99)
浦﨑　晃浩 (00)
田中　豊 (00)
三原興一郎 (00)
礒村　康行 (01)
梅田　義和 (01)
椛島　幹大 (01)
蒲池　俊彦 (01)

できごと

2001年　**21世紀が始まる**　21世紀が始まる（1月）。

2001年　**iPod発売**　Appleが携帯型デジタル音楽プレイヤー「iPod」を発売（11月）。自宅での環境をそのまま外へ持ち出すというコンセプト。

2001年　**アメリカ同時多発テロとアフガン侵攻**　9.11と呼ばれるイスラーム過激派テロ組織アルカイダによるアメリカでの同時多発テロ発生（9月）。目標となったニューヨークのワールドトレードセンターはハイジャックされた飛行機の突入により崩壊。テロ攻撃による死者は合計で2,763人。翌10月、アルカイダの指導者ビン・ラディンを匿っていたアフガニスタンのタリバーン政権に対して米国、イギリスを始めとした連合諸国が武力で侵攻。

2003年　**イラク戦争開戦**　大量破壊兵器を隠し持っているとして、イラクの武装解除とサダム・フセイン政権打倒を目的として米国やイギリス、オーストラリアなどの有志連合がイラク侵攻を開始（3月）。イラクのサダム・フセイン政権崩壊。

2003年　**西南学院中学校・高等学校、百道浜へ移転**　現西南学院大学東キャンパスにあった西南学院中学校・高等学校が百道浜の埋め立て地に移転。中学校・高等学校のチャペル（講堂）は大学博物館に。

2003年　**西南杜の湖畔公園開園**　1999年に福岡市に譲渡された西南学院大学の神学部と体育系クラブのグラウンドがあった干隈キャンパスの跡地（城南区七隈）が公園として整備され西南杜の湖畔公園として開園。西南学院大学体育系クラブのグランドは2009年に完成した西南学院大学田尻グリーンフィールド（西区田尻）へ。

2004年　**ＭＬＢでイチロー年間最多安打更新**　10月1日 - メジャーリーグでシアトルマリナーズのイチローが84年ぶりに年間最多安打262の新記録を樹立。

2005年　**福岡ソフトバンクホークス誕生**　ソフトバンクがダイエーの保有していた球団株式と興行権を取得し、福岡ドームの使用契約を締結。王監督が球団の取締役副社長兼ゼネラルマネージャーに就任。

2005年　**福岡県西方沖地震**　福岡県北西沖の玄界灘でマグニチュード7.0、最大震度6弱の地震が発生（3月）。福岡市および志摩町・前原市（現・糸島市）と周辺市町村を中心に住宅やビル、マンションなどに被害が発生。近辺でのマグニチュード7.0以上の地震は、1700年の壱岐・対馬付近の地震のみで、福岡市および糸島半島付近では有史以来もっとも大きな地震。

2005年　**九州大学移転開始**　九州大学が福岡市西区元岡の丘陵地帯の伊都キャンパスに移転開始。2018年9月に移転が完了。中央区六本松にあった教養部跡は裁判所や少年科学館、商業施設、マンションに。東区箱崎にあった本学跡も再開発へ。

2006年　**ソフトバンク携帯電話へ**　ソフトバンクが、携帯電話事業会社のボーダフォンを買収。携帯電話事業へ（3月）。

2007年　**日本「超高齢社会」**　1970年に総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が7%を超え「高齢化社会」に突入した日本は1994年にその割合が14%を超え「高齢社会」に、そして2007年には21%を超え「超高齢社会」を迎えた。

2007年　**福岡郵便貯金会館閉鎖**　郵政民営化を控え、福岡郵便貯金会館（メルパルクホール福岡）が3月末をもって閉鎖。跡地は売却されマンションに。

2008年　**リーマン・ショック**　アメリカで住宅市場の悪化による住宅ローン問題がきっかけで投資銀行であるリーマン・ブラザーズ・ホールディングスが経営破綻（9月）。連鎖的に世界規模の金融危機に発展。

2009年　**バラク・オバマ米国大統領誕生**　バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任（1月）。黒人の大統領は米国史上初。

2009年　**マイケル・ジャクソンが死去**　米国の歌手でダンサーでもあり、「キング・オブ・ポップ」として知られたマイケル・ジャクソンが死去（6月）。

できごと

2009年　**民主党政権誕生**　2009年8月末の衆院選で自民党を破り民主党が政権奪取。蓮舫議員の「一番じゃなきゃダメですか？」などの発言も。2012年まで政権を担うも同年12月の総選挙で敗北、自民党政権へ。

2010年　**はやぶさ帰還**　日本の小惑星探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワから地球へ帰還（6月）。

2011年　**東日本大震災発生**　3月11日東北地方太平洋沖でマグニチュード 9.0の大地震が発生。津波などで東北地方を中心に12都道府県で1万8425名の死者・行方不明者が発生。またこの地震の巨大津波の影響で福島第一原子力発電所の事故も発生。

2011年　**日本の人口減少に**　前年1億2810万人であった日本の総人口が1億2780万人と減少。この年以降日本の総人口は減少を続ける。

2011年　**九州新幹線全線開通**　九州新幹線が先行していた八代 - 西鹿児島（現 鹿児島中央）間に続き、博多駅 - 新八代駅間が開業し全線開業（3月）。山陽新幹線とも直通運転。新しい駅ビルの JR博多シティ（アミュプラザ博多・博多阪急）も開業。

2012年　**東京スカイツリー完成**　東京のランドマークの一つで世界一高いタワー、東京スカイツリーが完成（2月）。

2013年　**「ななつ星 in 九州」運行開始**　九州旅客鉄道（JR九州）が運行する豪華観光寝台列車「ななつ星 in九州」が運航開始（10月）。観光に絞った寝台列車としては日本初。

2014年　**「笑っていいとも！」放送終了**　フジテレビ系列で1982年から毎週平日（月曜日から金曜日まで）の昼間に生放送されていた、タモリ（森田一義）が司会を務めていた人気のバラエティ番組「森田一義アワー 笑っていいとも！」が放送終了（3月）。

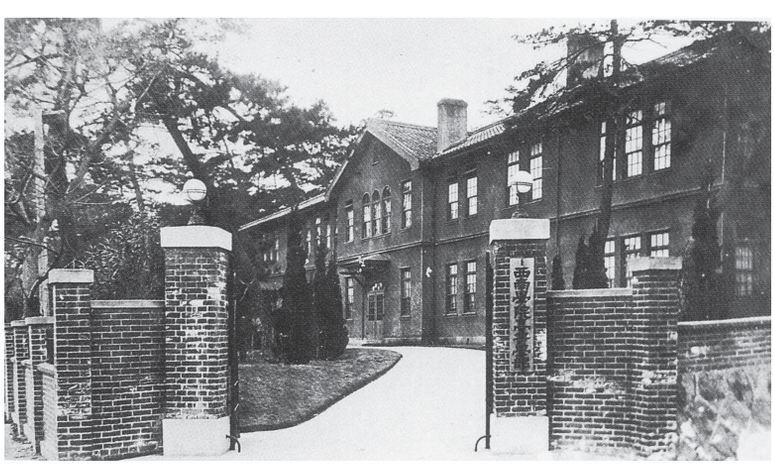
2015年　**「天神ビックバン」始動**　福岡市中央区天神エリアの都市開発計画「天神ビッグバン」が始動開始。エリア内の老朽化したビルを建て替えて整備する再開発計画で、福岡ビルと天神コアの一体開発や天神イムズの再開発などが進んでいる（記載時点）。

2016年　**熊本地震発生**　4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで震度7や震度6地震が発生。震度7の地震が同一地域で連続して発生するのは震度7が設定された1949年以降初めて。全壊約8300棟、住家被害計が16万棟。加えて、最大約45万戸断水、約48万戸停電、約11万戸ガス供給停止となり、交通網も道路・鉄道・空路が一時不通になるなど、大きな被害が発生。熊本城は櫓や門など重要文化財に指定されている13の建築物全てで深刻な被害。

2018年　**西日本豪雨発生**　6月28日から7月8日にかけて梅雨前線が西日本付近に停滞、大雨、集中豪雨が続き、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200人を超えた。
福岡では北九州市小倉北区の板櫃川や久留米市北野町の大刀洗川など複数の河川が氾濫、久留米市では広範囲が浸水、7日までに約1000棟が浸水被害を受け、ボートによる救助活動が行われた。

2019年　**天皇退位、令和へ**　第125代天皇明仁様が退位され、皇太子徳仁様が第126代天皇に即位（5月）。元号が平成から令和に改元された。

2019年　**新型コロナウィルス確認**　新型コロナウィルス感染症（Covid-19）の原因であるウィルスを中国の湖北省で初めて確認（12月）。その後全世界に感染拡大。2020年には対策として日本でも飲食店の営業自粛や旅行、イベントの自粛、ワクチン接種が求められ、医療体制や経済活動に大きな影響を与えた。企業や学校ではリモートワーク、リモート授業が広がる。



現図書館がある所にあった校舎

創立 79 周年（1998 年度：平成９～ 10 年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

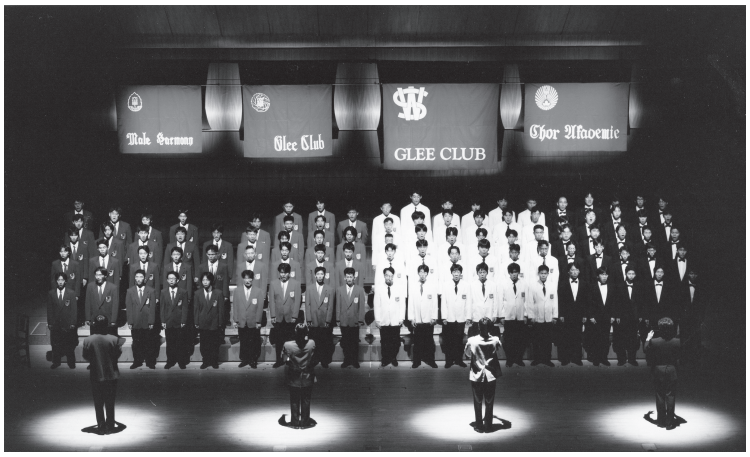
活動停止前の西南学院グリークラブがもっとも隆盛を誇った90年代。その最晩年のグリーを担ったのが99期である。入学当初、当時の4年生96期は36名が在籍し、折しも第5回アメリカ演奏旅行からの帰国直後の余勢もあり、勧誘活動は思いのほか多くの1年生が入部した。練習初日に参加した人数は32名であったと記憶している。最終的に卒業時の99期の人数は16人であり、その前後の代を振り返っても、一番多い人数であった。

12月23日、福岡女学院の「Messiah」演奏会に出演、26日に恒例となっていた女子少年院「筑紫少女苑」でのボランティア演奏、27日のピオネ荘での忘年会でその年の活動を終えた。

平成10年の活動は、春の最大事業である**第６回アメリカ演奏旅行**に向けて突き進んでいった。1月25日に飯塚コスモスコモンで行なわれた「ミュージカルとアメリカ民謡の夕べ」を皮切りに、2月8日には85期友納先輩の父上が牧師を務めていた伊都教会での礼拝出演、さらに演奏旅行への総仕上げとして2月22日に「西南学院グリークラブ Spring Concert」を、あいれふホールで開催した。更にフェアウェルコンサートを経て、3月9日から21日迄の第６回アメリカ演奏旅行に総勢32名で旅立った。この時の人員構成は(4年生が16名、3年生が8名、2年生が8名)の総勢32名であった。詳細は演奏旅行レポートに譲りますが、その途中のレイクドマナーで西南学院創立者C.Kドージャーの娘さんのMrs.ドージャーを表敬訪問し、数多の国際交流の役目を果たしてメンバーは無事帰国した。海外演奏旅行は準備と負担の大きいものであったが、この得難い経験は非常に大きな糧となった。

4月の入学式参列演奏、新勧活動を経て新入部員12名を加えて新年度はスタートした。

5月2日に大学ラグビー部創部70周年記念式典での演奏、チャペル出演等５月、６月は主に学内活動を行い、6月21日にメルパルクホール福岡で「第31回福岡男声四大学合同演奏会」に出演した。7月には西南学院グリークラブSummer Concertを少年科学文化会館で開催した。、11月8日には伊都教会での礼拝出演に招聘を受けた。11月23日には西南シャントゥールの定演に賛助出演し、「**第47回定期演奏会**」は12月12日にメルパルクホール福岡に会場を変更して開催した。



1998.6.21 第 31 回福岡男声四大学合同演奏会


西南シャントゥール定期演奏会 賛助出演

４ステージ構成で「雪と花火」を学生指揮者の小野大介（99期）が指揮、「美女と野獣アルバム」を完戸真人氏（76期）、そして福永陽一郎先生亡き後、西南グリーの指導、客演指揮を引き受けていただいた日本合唱界の重鎮、関屋晋先生の指揮で「アーン歌曲集」「風に鳴る笛」をピアノ 久邇之宣先生の伴奏で全員が渾身を込めて歌いあげました。

グリー黄金期の一つである90年代から過渡期に入った99期であったが、肥大化していた当時のグリークラブの運営活動の中で、難しい舵取りの連続でもあった。同期の人数が多いがゆえの頼もしさや絆の強さはあったが、拡大した演奏会活動と部員の減少による金銭的負担が重く、今後のグリー運営に解決すべき課題の残った年でもあった。

記述者　轟木　保弘（99期）

創立79周年　第47回定期演奏会　1998年12月12日(土)　6:30p.m.　メルパルクホール福岡



210×297mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　男声合唱組曲「雪と花火」　北原白秋：詩　多田武彦：曲　指揮：小野大介
・片恋　・彼岸花　・芥子の葉　・花火

Ⅱ　「アーン歌曲集」　Reynaldo Hahn：曲　北村協一：編
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・D'Une Prison（牢獄から）
・Si mes vers avaient des ailes（私の詩に翼があったなら）
・Paysage（景色）　・Mai（五月）

Ⅲ　「美女と野獣」アルバム
Howard Ashman & Tim Rice：詞　Alan Menken：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
soprano: 永田早智代　extra：宇都宮裕香・杉本沙也佳
・Belle　・Be Our Guest　・If I Can't Love Her　・Something There
・Home　・Human Again　・Beauty and the Beast

Ⅳ　男声合唱組曲「風に鳴る笛」　谷川俊太郎：詩　高嶋みどり：曲
指揮：関屋　晋　piano：久邇之宜
・奏楽　・息　・地球があんまり荒れる日には　・道の夢　・未来



部　長：安徳　典光

総務・人事：田中　豊
M　G：清原　圭司
M　G：三原興一郎
sub-MG：諸岡　正芳
sub-MG：米澤　孝志

会　計：荒木　規夫
sub- 会計：坂谷　裕馬
庶　務：永本　貴志
sub- 庶務：礒村　康行
sub- 庶務：中山　敬二
OB 担当：轟木　保弘
Librarian：梅田　義和
Librarian：仁木　賢則

指揮者：小野　大介
副指揮者：龍　毅

PL-T1：和田　崇宏
PL-T2：富永　憲司
PL-B1：八谷　太朗
PL-B2：廣渡　将文

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
藤本　朋広 (99)	小野　大介 (99)	高木　勇 (99)	江口　真人 (99)
三浦　史明 (99)	木村　一輝 (99)	筒井　拓史 (99)	大村　則之 (99)
和田　崇広 (99)	竹井　康晃 (99)	轟木　保弘 (99)	小泉　慶 (99)
荒木　規夫 (00)	富永　憲司 (99)	八谷　太朗 (99)	廣渡　将文 (99)
平田　雄嗣 (00)	片岡　潤也 (00)	佐野　将史 (00)	吉丸　紀道 (99)
龍　毅 (00)	清原　圭司 (00)	永本　貴志 (00)	浦﨑　晃浩 (00)
坂谷　裕馬 (01)	中尾　隆宏 (01)	仁木　賢則 (01)	田中　豊 (00)
田中　秀人 (01)	中山　敬二 (01)	諸岡　正芳 (01)	三原興一郎 (00)
北村　亮 (02)	米澤　孝志 (01)	上農　悟司 (02)	礒村　康行 (01)
廣岡　誠治 (02)	赤木　俊介 (02)	浦川　博典 (02)	梅田　義和 (01)
松本　直也 (02)	瀬戸口　太 (02)	榎本　和人 (02)	鳥井　裕史 (02)
	盛岡　誠一 (02)	下川　慎二 (02)	野々下陽一 (02)

創立80周年（1999年度：平成10～11年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

近年の西南学院グリークラブ部員の減少、活動停止、そして現在という一連の流れの中で「部員減少」の一つの境目となったのが我々00期であった。00期の部員数は10名。00期以降の学年で10名以上の部員が在籍した代は存在しない。倍近くの部員が在籍した99期から運営を引き継いだ我々は、少ない部員でのクラブ運営と言う不安を抱えながらのスタートとなった。

12月17日、ランキンチャペルでの「ハレルヤ・コーラス」、クリスマスイブ前日の23日は福岡女学院主催の「MESSIAH」演奏会出演でその年の活動を終えた。

平成11年の活動は1月31日に飯塚コスモスコモンで行なわれた「ミュージカルの夕べ」でスタート。ミュージカル「ウエストサイドストーリー」から数曲を演奏した。西南グリーＯＢで西南女学院教諭の完戸真人(76期)先生指導のもと、演奏曲目にミュージカルの曲や振付けを加えたのは、我々の世代からではないかと思う。

２月は恒例となっていた女子少年院「筑紫少女苑」へのボランティア出演、その後グリー宛に「真摯に歌う姿に心を打たれた。自分もこれから正しい道を歩いて行きたい」という手紙が届いたことを覚えている。

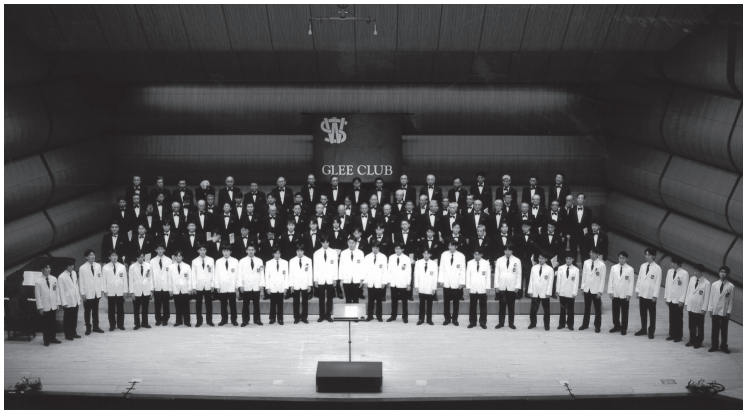
３月は多忙であった。友納靖史先輩(85期)の父上が牧師をお務めの「伊都キリスト教会」での礼拝に出演、３月13日には、関西学院グリークラブとのジョイントを行なった。この演奏会では関学グリーのメンバーを西南グリーメンバーの自宅にホームステイ受け入れし、寝食を共にして合同合唱は「黒人霊歌」を歌い交歓を深めた。翌週は東京に飛び、「曳舟文化センター」で西南女学院高校音楽部とのジョイントを行った。「ウエストサイドストーリー」と「三崎のうた」を演奏した。東京での演奏会は福岡とはまた異なる独特の雰囲気であった。

新学期の４月大学のイベントに参加し、併せて新入部員の勧誘を行なうも、この頃の入学者の半分以上が女性となり、景気の悪化や生活スタイルの変化により、サークルに入らずアルバイトや、就職に備え大学と並行して専門学校に通う学生も増え、勧誘活動は至難を極めた。

５月、６月は主に学内活動を行い、６月25日にアクロス福岡シンフォニーホールで「第32回福岡男声四大学合同演奏会」に出演した。夏合宿を間に10月は「十三大都市医師会連絡協議会」や「藤沢＆福岡交流演奏会」等の外部演奏会に招聘された。秋合宿を経て11月25日には西南シャントゥールの定演に賛助出演し、12月12日に「グリー**創立80周年記念第48回定期演奏会**」をメルパルクホール福岡で開催した。

我々00期にとってはグリー生活最後の演奏会である。４ステージ構成で「アメリカ民謡」と「三崎のうた」の２ステージを学生指揮者の龍 毅(00期)が指揮、「ウエストサイドストーリー」を完戸真人先生(76期)、そして西南シャントゥールとＯＢ有志、グリーとの合同合唱「月光とピエロ」を内海敬三氏(54期)が指揮。最終ステージの幕が上がると、それまでのステージに比べ出演者の多さに、会場が少しどよめいたことを記憶している。学生のサークル離れ、就職難など学生と社会の大きな変革期の中で過ごした４年間であったが、この最終ステージは特に印象に残った。

記述者・佐野　将史(00期)



創立80周年記念定期演奏会、合同ステージ


第６回アメリカ演奏旅行にて (1998.3)

創立80周年　第48回定期演奏会　1999年12月12日(日)　4:00p.m.　メルパルクホール福岡



182×257mm

主催：西南学院グリークラブ
後援：福岡市・福岡市教育委員会
福岡県合唱連盟
朝日新聞社・FM 福岡
KBC 九州朝日放送

Ⅰ　アメリカ民謡集　Ralph Hunter & Alice Parker & Robert Shaw：編
指揮：龍　　毅　piano：吉冨淳子
・Seeing Nellie Home　・Aura Lee　・Good Night, Ladies
・Gentle Annie　・Shenandoah

Ⅱ　男声合唱組曲　「三崎のうた」　北原白秋：詩　多田武彦：曲　指揮：龍　　毅
・丘の三角畑　・白南風　黒南風　・海雀　・雨中小景　・鮪組

Ⅲ　musical "West Side Story"
HS.Sondheim　：詞　L.Bernstein：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子　振付・soprano: 永田早智代　脚本；龍　　毅
・Something's Coming　・I Feel Pretty　・America　・Maria
・Tonight　・Gee! Officer Krupke!　・I Have A Love
・One Hand, One Heart　・Somewhere

Ⅳ　男声合唱組曲「月光とピエロ」(OB 合同ステージ)　指揮：内海敬三
堀口大學：詩　清水　脩：曲
・月夜　・秋のピエロ　・ピエロ　・ピエロの嘆き
・月光とピエロとピエレットの唐草模様

部　長：田中　輝雄

総　務：坂谷　裕馬
人　事：梅田　義和
M　G：諸岡　正芳
M　G：米澤　孝志
sub-MG：下川　慎二
sub-MG：廣岡　誠治

会　計：坂谷　裕馬
庶　務：礒村　康行
sub- 庶務：野々下陽一
OB 担当：中山　敬二

Librarian：仁木　賢則

指揮者：龍　　毅
副指揮者：田中　秀人

PL-T1：龍　　毅
PL-T2：片岡　潤也
PL-B1：佐野　将史
PL-B2：浦﨑　晃浩

TOP TENOR
荒木　規夫 (00)
平田　雄嗣 (00)
龍　　毅 (00)
坂谷　裕馬 (01)
田中　秀人 (01)
廣岡　誠治 (02)
永田　哲也 (03)
森田　雅之 (03)

SECOND TENOR
片岡　潤也 (00)
清原　圭司 (00)
中尾　隆宏 (01)
中山　敬二 (01)
米澤　孝志 (01)
近本　喜隆 (03)
花田　真一 (03)

BARITONE
佐野　将史 (00)
永本　貴志 (00)
仁木　賢則 (01)
諸岡　正芳 (01)
下川　慎二 (02)
黒田　　宏 (03)
吉田　文平 (03)

BASS
浦﨑　晃浩 (00)
田中　　豊 (00)
三原興一郎 (00)
礒村　康行 (01)
梅田　義和 (01)
野々下陽一 (02)
秋山将太郎 (03)
杉谷　大輔 (03)

OB 合同ステージ出演者

TOP TENOR
内海　洋一　秋根　　武
乙藤　成美　宮地　基嗣
高木　正志　出口　幸一
中尾　武史　佐藤　宗一
飛松　智明　本山　和文
山元　一憲　倉地　　進
杉本　哲也　山口　　聡
徳永　正章　内田　圭一
諸熊　敏明　日下部一徳
村田　尚吾

SECOND TENOR
的野　恭一　福井　　勲
野辺　和馬　馬頭　経明
波多江　忠　徳永　和彦
黒江　量二　石橋　一幸
徳永　武雄　石松　　茂
森　　常洋　窪田　敏博
波左間　実　亀川　正則
古瀬　哲也　篠原　隆盛
福島　龍則　田町　大輔
湯本　武志　浦田　正史
原　　康彦　堤　　淳
亀井　幹登　廣門　和久

BARITONE
林　　照樹　内海　敬三
下村　武俊　和田　正義
鈴木　　勸　石川　和義
古賀　正義　山田　智徳
佐藤　棟也　松尾　淳郎
小西　真二　里中　　健
髙嶋　裕二　八尋　研二
柴田　信英　村田　　実

BASS
鶴原　太郎　下川　勝史
豊田佳日子　木道　　昇
井形　宣英　田中　義信
植木陽一郎　靏　　喜廣
松枝　康匡　阪井　俊文
毛利　正明　夏秋　毅昭
森　　博彦　宮地　　純
伊飼　康史　吉原　淳一
高田　浩光　土井　宗三
宮田　王惠　大村　則之

創立 81 周年（2000 年度：平成 11 ～ 13 年）　Seinan Gakuin Glee Club 100th anniversary

平成11年12月、創立80周年の第48回定期演奏会を最後に、部員数が10名いた00期の先輩達が卒業され、残りメンバー16名となった西南グリーを率いて、我々01期世代は活動を開始した。

少人数での活動でありこれまでと同様の活動は難しかったため、人数に見合ったホールへの変更やこれ迄分担されていた運営の集約、効率化等を迫られたが、歌の技術面に関してはグリーの歴史と伝統を穢すことが無いように、部員一同気持ちを一つにしてのスタートであった。

12月は、14日の大学ランキンチャペルでのハレルヤコーラス、23日には福岡女学院クリスマスコンサート「MESSIAH」演奏会に出演した。

平成12年3月に関学とのジョイントコンサートを控えていたために、1月～2月は基礎から発声を見直し、春休み中の強化合宿を含めて技術の向上を図った。2月27日には恒例となっていた筑紫少女苑への慰問演奏会を行い、3月10日には関学とのジョイントコンサートを開催した。その前日、関学グリーメンをランキンチャペルに迎え、お互いに再会を喜び、エール交歓を行った。いつもの様にホームスティーを引き受け交流を深めた。

演奏会では、関学グリーが「黒人霊歌集」と「Schubertiad」を西南グリーは男声合唱組曲「雨」と「ミュージカル名曲集」を演奏し、合同演奏は広瀬康夫氏の指揮で「Sea Shanties」を歌った。関学グリーも我々と同様に部員数の減少をみせていたが、それを全く感じさせない演奏内容で、音楽に対する姿勢、取り組み等学ぶところも多く有意義な演奏会であった。

4月、5名の新入部員を迎え、5月には学内イベントに参加する一方、福岡マンドリンクラブ創立40周年記念演奏会に賛助、6月には第33回福岡男声四大学合同演奏会に出演した。

7月には前期の集大成として「Summer Concert」を行った。夏休み中の強化合宿を経て10月、さが国際交流音楽祭「ミレニアム・GARA・クラシカル」（鳥栖スタジアム）に出演。オーケストラと1,000人にも及ぶ大合唱団で歌うという貴重な機会を得た。この年の11月から12月にかけては、大学祭やチャペル奉仕の他にもお座敷が多く、福岡女学院のメサイアまで極めて多忙なスケジュールであった。

第49回定期演奏会は年が明けた平成13年1月14日、久し振りに電気ホールで開催した。

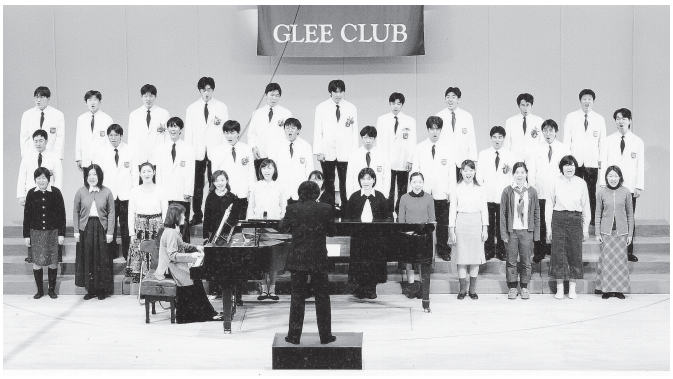
第1、第3ステージは学生指揮者の田中秀人（01期）が男声合唱組曲「雨」と「Old American Songs」を指揮、第2ステージは先輩でもある完戸真人氏（76期）の指揮でミュージカル「レ・ミゼラブル」を演奏した。



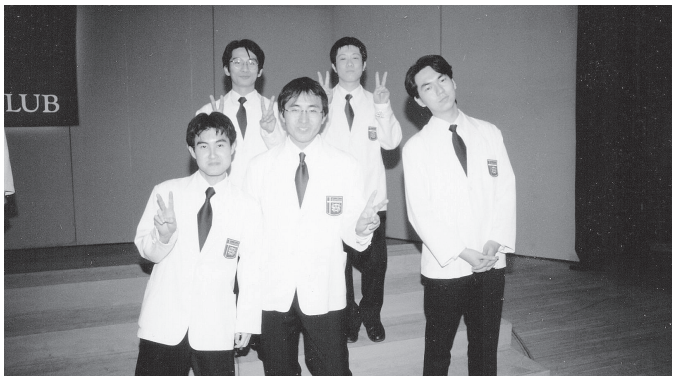
2000.6.23- 第 33 回福岡男声 4 大学演奏会

大学4年間部員が減少し続ける中での学生生活であったが、その苦しい中、そこで築き上げたグリーの仲間達との関係は今も続いている。それは自分にとって掛け替えのないものであり、それらを与えてくれたグリークラブに感謝している。得難い体験をもたらしてくれたグリーが永遠に存続、発展してくれることを心から祈ってやまない。

記述者　礒村　康行（01期）



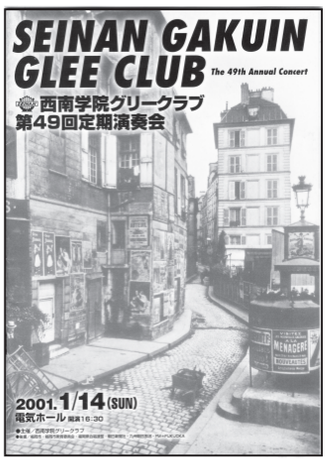
第 49 回定期演奏会



定演で同期と

創立81周年　第49回定期演奏会

2001年1月14日(日)　4:30p.m.　電気ホール



182×257mm

Ⅰ　男声合唱組曲「雨」　多田武彦：曲　指揮：田中秀人
・雨の来る前　・武蔵野の雨　・雨の日の遊動円木　・雨　雨　・雨の日に見る　・雨

Ⅱ　ミュージカル「レ・ミゼラブル」　C. M. Schonberg：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子　soprano: 永田早智代
extra：西南女学院高校音楽部現役・OG 11 名
・At the End of the Day　・Stars　・Red and Black　・Do you hear the people sing?
・On my own　・One day more　・Drink with me　・Little people　・A little fall of rain
・Empty tables　・Finale

Ⅲ　"OLD AMERICAN SONGS"　A. Copland：曲　指揮：田中秀人　piano：吉冨淳子
・The Boatman's Dance　・Ching-a-ring Chaw　・At The River
・The Little Horse　・I Bought Me A Cat　・Long Time Ago　・Zion's Walls

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社・KBC 九州朝日放送・FM 福岡

部　長：田中　輝雄
総務・人事：下川　慎二
M　G：廣岡　誠治
sub-MG：黒田　宏
sub-MG：杉谷　大輔

会　計：野々下陽一
sub- 会計：秋山将太郎
庶　務：永田　哲也
OB 担当：廣岡　誠治
Librarian：秋山将太郎

指揮者：田中　秀人
副指揮者：下川　慎二
PL-T1：田中　秀人
PL-T2：中山　敬二
PL-B1：仁木　賢則
PL-B2：梅田　義和

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
坂谷　裕馬 (01)	中尾　隆宏 (01)	仁木　賢則 (01)	礒村　康行 (01)
田中　秀人 (01)	中山　敬二 (01)	師岡　正芳 (01)	梅田　義和 (01)
廣岡　誠治 (02)	米澤　孝史 (01)	下川　慎二 (02)	野々下陽一 (02)
永田　哲也 (03)	青柳　紀史 (04)	黒田　宏 (03)	秋山将太郎 (03)
田嶋　祐樹 (04)	小川貴一郎 (04)	野口龍太郎 (04)	杉谷　大輔 (03)
西村　文彦 (04)			三石　紘平 (04)

創立82周年　第50回定期演奏会

2001年12月9日(日)　5:00p.m.　ももちパレス



182×257mm

Ⅰ　男声合唱による「井上陽水の世界」　源田俊一郎：編　指揮：下川慎二　piano：吉冨淳子
・東へ西へ　・ワインレッドの心　・心もよう　・風のエレジー　・少年時代

Ⅱ　ミュージカル「回転木馬」
Oscar Hammerstein Ⅱ：詞　Richard Rodgers：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子 extra：西南女学院高校音楽部現役・OG 14 名
・June is bustin' out all over　・A real nice clambake　・If I loved you
・Blow high, blow low　・Soliloquy　・What's the use of wond'rin'
・When the children are asleep　・You'll never walk alone

Ⅲ　無伴奏男声合唱のための「あしたうまれる」 〜「白いうた青いうた」より〜
谷川　雁：詞　新実徳英：曲　指揮：下川慎二
・われもこう　・あしたうまれる　・無名　・南海譜　・昼と夜　・盲導犬S　・ちいさな法螺　・卒業

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社・KBC 九州朝日放送・FM 福岡

部　長：渡邊　均
総務・人事：秋山将太郎
M　G：黒田　宏
sub-MG：田嶋　祐樹
sub-MG：野口龍太郎

会　計：青柳　紀史
庶　務：永田　哲也
OB 担当：黒田　宏
Librarian：杉谷　大輔

指揮者：下川　慎二
Leader：廣岡　誠治
Leader：下川　慎二
Leader：杉谷　大輔

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
永田　哲也 (03)	廣岡　誠治 (02)	下川　慎二 (02)	野々下陽一 (02)
青柳　紀史 (04)	福永　和博 (05)	黒田　宏 (03)	秋山将太郎 (03)
田嶋　祐樹 (04)	藤井　大樹 (05)	野口龍太郎 (04)	杉谷　大輔 (03)
遠藤　英城 (05)		今川　晋祐 (05)	中村　正輝 (05)
橋本　明泰 (05)		小吹　淳 (05)	

創立 82 周年 ～86 周年
（2001～2005 年度：平成 13 ～ 18 年）

平成11年12月に、創立80周年記念第48回演奏会終了後、本来平成12年内に行われるべきであった第49回定期演奏会は年を越し、平成13年1月に開催されたために、**第50回定期演奏会**は同じ平成13年の12月9日、ももちパレスで開催された。客演の完戸真人氏（76期）がミュージカル「回転木馬」を指揮、学生指揮者の下川慎二（02期）が、男声合唱による「井上陽水の世界」と 無伴奏男声合唱のための「あしたうまれる」～「白いうた青いうた」より～を指揮した。

平成14年は、2月に恒例の筑紫少女苑の慰問演奏、、7月21日、福岡市中央市民センターで行なわれた「サマーコンサート」は、現役グリーのみに依るステージ、西南女学院の学生やＯＧの女声との合同ステージ、賛助団体に依るステージ、そしてグリーとグリーＯＢに依るステージという構成であった。

第51回定期演奏会は、平成15年1月12日に完戸真人氏を客演に迎え、ももちパレスで開催した。完戸氏の指揮でミュージカル「My Fair Lady」をメインに、秋山将太郎（03期）の学生指揮で「世界民謡集」とG. Holstの「Six Choruses」を演奏した。この年までも7月25日に完戸先生の指導のもとに福岡西市民センターで数名のＯＢの協力を得て「西南学院グリークラブサマーコンサート」を開催した。

第52回定期演奏会は平成16年1月、ももちパレスにて、完戸真人氏客演指揮によるミュージカル「Mary Poppins」、学生指揮者 野口龍太郎（04期）指揮により「白いうた青いうた」より と「日本の唱歌」等を演奏した。

この頃のグリーの活動は、グリーの若手OBや西南女学院の現役やOGの援助に加えて、ピアノ伴奏をお願いしていた吉冨先生のご縁のある合唱団メンバーの応援を受けており、自力での活動には限界を来し始めていた。当時現役を支えていた若手OBとは、80期代2名、90期代10名、00期代3名で5名の現役と合わせ何とか20名で辛うじて演奏会を維持している状況であった。

第53回定期演奏会に関し、グリーから私に連絡があったのは平成16年9月頃のことであった。
完戸先生が都合で指揮が出来ないため、「一緒にステージをお願いしたい」との事であった。前年のサマーコンサート同様にOBに頼らざるを得なかったようである。定演に関しては既に会場も決まっており、メンバーは５名だけでも、演奏会を止めることは考えていないようであった。

応援を承諾してくれたOBメンバーとも相談し、どのステージでも西南グリーらしい合唱が出来ることを目標に演奏会の成功を期した。OBは練習にも可能な限り参加し、現役に対しても呼吸法, 発声等基礎的な指導を施し練習を重ねた。

定期演奏会は、平成17年1月16日に福岡市中央市民センターで開催した。ステージは今川晋介（05期）指揮、現役メンバーだけで、「温もりを忘れない」として童謡・唱歌から４曲と、「The　Oldies」の2ステージ、日下部（96期）指揮でOBとの合同ではOBにも馴染深い「「Nigro　Spirituals」と多田武彦の男声合唱曲組曲「柳河風俗詩」の2ステージの計４ステージの演奏を行った。OBとの合同練習は11月、12月に数回の練習であったが、僅か5名の少ないメンバーながら、グリーへの直向きな思いで演奏会を開くことが出来たのではないかと感慨深い。

この後、4年生2名が卒業し、加えてこの年は新入部員の入部が無く、井上貴喜君（06期）を残して他のメンバーもグリーを去り、この時点でグリーは実質的に休部状態となった。

翌平成18年、最後の部員となった井上君の卒業のための演奏会が完戸氏の肝入りで1月8日福岡市立福祉プラザふくふくホールで**第54回定期演奏会**が催された。ステージは賛助団体の２ステージの他、OBと合同で、「イギリス民謡集」と「尾崎喜八の詩から」を演奏した。
これをもって、すべての西南グリーの活動が休止した。

記述者　日下部　一徳（96期）

創立83周年　第51回定期演奏会

2003年1月12日(日)　5:00p.m.　ももちパレス



182×257mm

Ⅰ「世界民謡集」　吉冨淳子・完戸真人：編　指揮：秋山将太郎
・Loch Lomond　・貝売り娘　・夜　星は光り　・野ばら

Ⅱ musical "My Fair Lady"　Frederick Loewe：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子 extra：西南女学院高校音楽部現役・OG 9名
・Wouldn't it be loverly　・With a little bit of luck　・Poor professor Higgins
・The rain in Spain　・I could have danced all night　・Ascot Gavotte
・On the street where you live　・Get me to the church on time
・I've grown accustomed to her face

Ⅲ "Six Choruses"　Gustav Holst：曲
指揮：秋山将太郎　piano：吉冨淳子
・Drinking song　・Intercession　・A love song　・Good Friday
・Before sleep　・How mighty are the Sabbaths

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社・KBC 九州朝日放送・FM 福岡

部　長：渡邊　均　　指揮者：秋山将太郎
副指揮者：野口龍太郎
総　務：田嶋　祐樹　　会　計：遠藤　英城　　PL-T1：田嶋　祐樹
人　事：橋本　明泰　　OB 担当：青柳　紀史　　PL-T2：秋山将太郎
M　G：青柳　紀史　　PL-B1：野口龍太郎
sub-MG：今川　晋祐　　Librarian：野口龍太郎　　PL-B2：杉谷　大輔

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
永田　哲也 (03)	青柳　紀史 (04)	黒田　宏 (03)	秋山将太郎 (03)
田嶋　祐樹 (04)	福永　和博 (05)	野口龍太郎 (04)	杉谷　大輔 (03)
遠藤　英城 (05)	石田　智也 (06)	今川　晋祐 (05)	本田　悠 (06)
橋本　明泰 (05)		狩生　孝之 (06)	前田　智久 (06)
井上　貴喜 (06)			

創立84周年　第52回定期演奏会

2004年1月11日(日)　5:00p.m.　ももちパレス



182×257mm

Ⅰ 宗教合唱曲集　吉冨淳子・完戸真人：編　指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
・聖なる聖なる聖なるかな　・主の血に贖われ　・The very best time of year

Ⅱ「白いうた青いうた」アルバム　谷川　雁：詞　新実徳英：編　指揮：野口龍太郎
・あしたうまれる　・二十歳　・壁きえた　・北極星の子守歌

Ⅲ musical "Mary Poppins"　R. B. Sherman & R. M. Sherman：曲　吉冨淳子・完戸真人：編
指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子 extra：西南女学院高校音楽部現役・OG 14 名
・The life I lead　・Sister suffragette　・The perfect Nanny　・A spoonful of suger
・Jolly holiday　・Supercalifragilisticexpialidocious　・Feed the birds　・Stay awake
・Fidelity Fiduciary Bank　・Chim chim cheree　・A man has dreams　・Let's go fly a kite

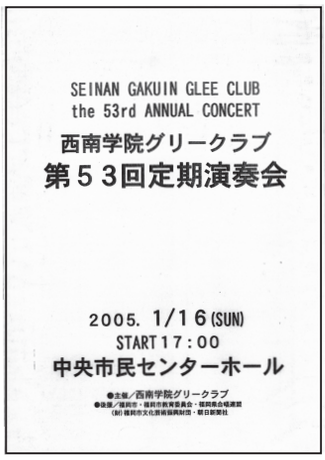
Ⅳ 日本の唱歌　野口龍太郎：編　指揮：野口龍太郎
・朧月夜　・茶摘　・紅葉　・冬景色　・夕焼小焼

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社・KBC 九州朝日放送・FM 福岡

部　長：渡邊　均　　指揮者：野口龍太郎
総　務：遠藤　英城　　会　計：狩生　孝之　　副指揮者：今川　晋祐
人　事：今川　晋祐　　庶　務：井上　貴喜
M　G：橋本　明泰　　OB 担当：橋本　明泰　　PL-T1：田嶋　祐樹
sub-MG：石田　智也　　PL-T2：青柳　紀史
sub-MG：本田　悠　　Librarian：今川　晋祐　　PL-B：野口龍太郎

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
田嶋　祐樹 (04)	青柳　紀史 (04)	野口龍太郎 (04)	今川　晋祐 (05)
遠藤　英城 (05)	石田　智也 (06)	狩生　孝之 (06)	本田　悠 (06)
橋本　明泰 (05)	内之倉　博 (07)	古賀　遼平 (07)	
井上　貴喜 (06)		月形　亮太 (07)	

創立85周年　第53回定期演奏会　2005年1月16日(日)　5:00p.m.　中央市民センターホール



182×257mm

Ⅰ「温もりを忘れない」　指揮：なし（今川晋祐）
・あわて床屋　・七つの子　・赤とんぼ　・浜辺の歌

Ⅱ Spirituals (OB 合同)　指揮：日下部一徳　piano：大隈久子
・If I got my ticket, can I ride?　・Steal Away
・Ain'-a that Good News !　・Set down Servant !

Ⅲ The Oldies　指揮：なし（今川晋祐）
・Can't help falling in love with you　・OB-LA-DI, OB-LA-DA
・Yesterday once more

Ⅳ 男声合唱組曲「柳河風俗詩」(OB合同)　北原白秋：詩　多田武彦：曲
・柳河　・紺屋のおろく　・かきつばた　・梅雨の晴れ間　指揮：日下部一徳

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社

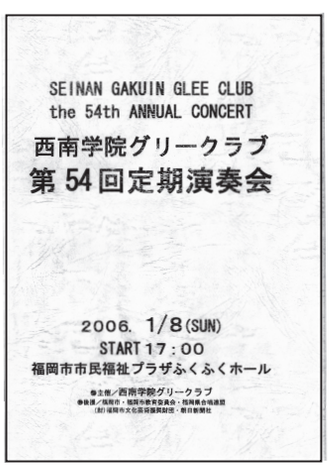
部　長：渡邊　　均

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
遠藤　英城 (05)	狩生　孝之 (06)	井上　貴喜 (06)	今川　晋祐 (05)
	古賀　遼平 (07)		本田　　悠 (06)

OB 賛助出演

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
諸熊　敏明 (95)	日下部一徳 (96)	岩藤　大介 (96)	高田　浩光 (96)
野田　誠一 (96)	堤　　淳 (97)	二井　利成 (96)	前田　英彦 (96)
田嶋　祐樹 (04)	青柳　紀史 (04)	野口龍太郎 (04)	土井　宗三 (97)

創立86周年　第54回定期演奏会　2006年1月8日(日)　5:00p.m.　市民福祉プラザふくふくホール



182×257mm

Ⅰ 男声合唱による「イギリス民謡集」　指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
・Down by the Sally Gardens（J. Rutter）　・Turn Ye to Me（A. Parker & R. Shaw）
・The Miller of Dee（J. Rutter）

Ⅱ 賛助：アンサンブル・ブランシェ　指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
「道の途中で」　・明日・On the Way・ふたたび・時には昔の話を

Ⅲ 賛助：ミュージカルクリエーション　指揮：完戸真人　piano：吉冨淳子
ミュージカル「チップス先生さようなら」名曲アルバム
・Part of Your World　・Colors of the Wind　・Under the Sea　・A Guy like You
・God help the Outcasts　・Santa Fe

Ⅳ 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」(OB合同)　多田武彦：曲
・冬野・最後の雪に・春愁・天上沢・牧場・かけす　指揮：完戸真人

主催：西南学院グリークラブ　後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財) 福岡市文化芸術振興財団
福岡県合唱連盟・朝日新聞社

部　長：渡邊　　均

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
ー	石田　智也 (06)	ー	本田　　悠 (06)
	井上　貴喜 (06)		
	田村　浩司 (08)		

OB 賛助出演

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
藤井　拓也 (92)	日下部一徳 (96)	岩藤　大介 (96)	高田　浩光 (96)
諸熊　敏明 (95)		二井　利成 (96)	土井　宗三 (97)
野田　誠一 (96)		轟木　保弘 (99)	小泉　　慶 (99)
平田　雄嗣 (00)		黒田　　宏 (03)	三原興一郎 (00)
		野口龍太郎 (04)	磯村　康行 (01)